

# 忍冬の会

令和5年5月14日（日）催行

## 「奈良小旅行記」

コロナ禍明けの実施を目指し、須藤先生が一年前から企画を練り準備をしてこられました。お忙しい時間の合間を縫って、3月には下見も実施しておられます。

集合:午前7時50分

出発:午前8時

京都駅八条口バスプール集合

時折ポツポツと雨粒が頬を濡らす朝...  
バスを貸し切り奈良県宇陀市大宇陀へ。

本葛でお馴染みの森野吉野葛本舗が管理運営する「森野旧薬園」へ向かいます。

※開園は、享保年間11代御当主が開園  
宇陀は、多くの製薬会社発祥の地。  
ロート製薬、ツムラ（旧津村順天堂）、アステラス製薬（旧藤沢薬品）など



旧沈殿槽前で、御当主20代・森野藤助様から「葛」についてのご説明を。

商品として使用する葛は、天然物で6～7年経ったものだそうです。

原料枯渇に備え、栽培を試みてはいただけるようですが、その品質は天然自生の物と比較するとまだまだとの事。

この後、各々裏山に広がる薬草園へ。  
資料館では、牧野富太郎展が開催中でした。



雨に洗われた青もみじの葉が、鮮やかでした。雲間から差す陽に照らされとても美しく見えます。



旧薬園中腹から望む、宇陀の街並み



20代・森野藤助様による旧薬園内のご説明

次は吉野の大師山妙法寺へ移動します。

大師山寺は、奈良県吉野郡吉野町上市にある寺院。開創は、奈良時代との事。地元の方にはもちろんの事、多くの方々が御祈禱の為こちらを訪れお参りをされています。

我々は、御住職の講話を拝聴いたしました。本堂までの参道は、かなりの急登でしたが皆様軽い足取りで上っておいででした。

大師山妙法寺  
大塚知明 御住職



本堂からの風景。桜の時期はまた素晴らしい景色が望めるそうです。遠くに見えるのは、葛城・金剛の山々でしょうか...





この頃には雨は止み、空が見えました。



今回、患者でおられる松尾様のご縁をいただき  
大師山寺へお参りする事ができました。

### お昼を過ぎましたので吉野の「食事処 一路」さんへ移動

築 150 年ほどの古民家をお店に改装されています。

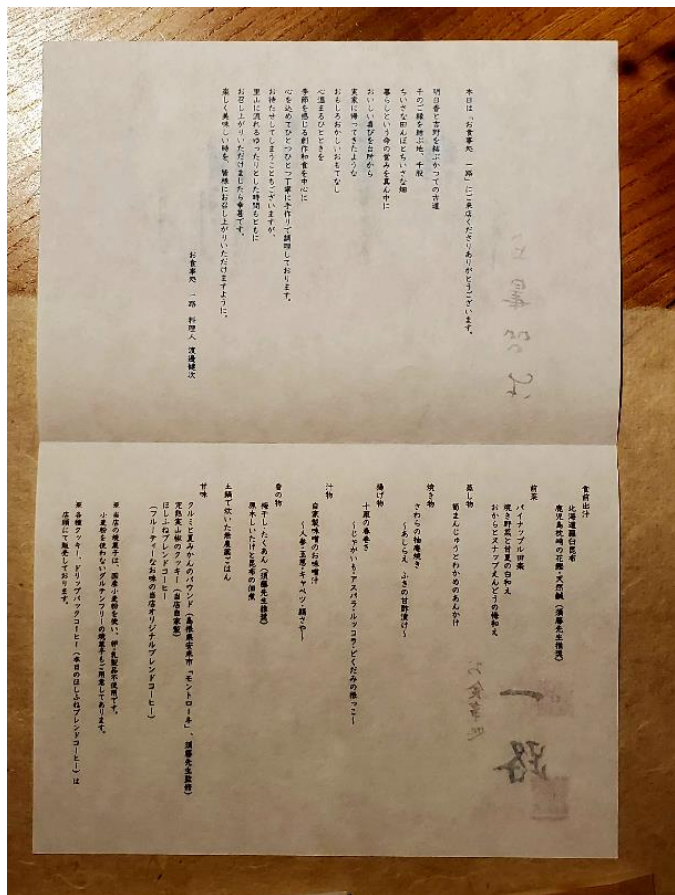


食事の用意が整うまでの間、須藤先生によるミニ講演会。

将来的な漢方薬原材料の高騰懸念や、その際には食で体調を整えられる「食養生」の大切さ等を丁寧にご説明くださいました。



皆様順番に自己紹介を兼ねたご自身の闘病話  
や日々の過ごし方などをご披露。



お食事処 一路さんでは、安心安全にこだわった料理の提供に努めておられます。

素材本来の風味を活かしつつ丁寧にとられた出汁を使って更に風味良く作られています。もちろんお味噌などは 自家製の事。

居心地の良さから滞在予定時間を1時間近くオーバー。先生のご挨拶の後、帰路へつきました。

訪れた方を居心地よくさせてくださるオーナー御夫婦です。

「お食事処 一路」

奈良県吉野郡吉野町千股725



文責：上畑直輝